



江渡 信貴
(自民公明クラブ)

コロナ禍での 小中学校教員の労働時間の現状は 平均して国の示す上限を 超過していない

議員 新型コロナの感染状況により毎日と

いっていいほど対応が変化している。昨今、小中学校教員の長時間労働が問題となることがあるが、コロナ禍での労働時間の現状は。

教育部長 現状で時間

外勤務時間の平均は、文部科学省が基準とする1か月上限45時間を超過していません。県教育委員会では教職員

の負担軽減等のため、スクール・サポート・スタッフを希望校へ順次配置しています。

議員 コロナ禍が引き起こす「病気」「不安」「差別」について、児童生徒が総合的に学

ぶ授業があるか。

教育部長 文部科学省が

発行した予防に関するパンフレット等を活用しながら、児童生徒の実態に合わせ、学級活動や保健の時間を使って指導しています。また、学校だよりや保健室だより等を発行し、児童生徒や保護者に周知を図っています。今後も感染症に対する予防や不安・差別の解消に努めるよう各校に働きかけていきます。

元へ帰省できずに不便を感じる十和田市出身者が多いと思う。シルバー人材センターを活用し、お墓の清掃や空き家の見守りサービス

議員 コロナ禍で地

等をふるさと納税の返礼品に加えることは可能か。

市長 有益なサービ

スなので、返礼品に登録することについて、現在シルバー人材センターと協議を行っていると

今泉 信明
(市民連合クラブ)

観光業の現状は

依然として厳しいため 回復に尽力したい



今泉 信明
(市民連合クラブ)

議員 新型コロナウ

イルス感染症の感染拡大により大きな被害を受けた観光業の現状をどのように認識しているか。

市長 観光業は、市

の活性化にとって重要な産業であり、観光業の継続に向けて、固定資産税・上下水道料

金・温泉使用料の減免や経済支援対策給付金の支給等の支援をいち早く実施しました。また、国のGOTOキャンペーンや県のおおもり宿泊キャンペーンの効果もあり、十和田湖・奥入瀬地区の宿泊者数は、7月までに徐々に回復の兆しが見られています。しかし、昨年の同時期と比べると5割程度にとどまっております。依然として厳しい状況にあります。

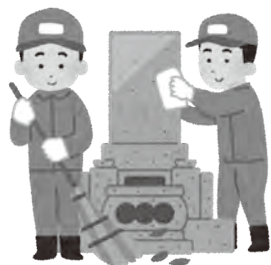
市は、これから秋の観光シーズンを迎えるに当たり、旅行者が安心して滞在できるように、官民間わず観光施設の感染症対策を徹底し、関係機関とその情報発信に努めます。また、今後も国や県の支援制度に注視しながら、観光業をはじめとする市経済の回復に尽力したいと考えています。

議員 エネルギーの

地産地消で地域経済に貢献するため、市街地周辺に木質バイオマス発電所（木材等を資源として活用する発電施設）を整備する考えは。

企画財政部長 地域資

源エネルギーを有効活用する電力事業であり、エネルギーの安定供給のため効果的な取組と考えますが、市が整備する際には多額の初期投資が必要となることから、市がバイオマス発電所を整備することは考えていません。



ふるさと納税返礼品にコロナ禍対応メニューを



秋の観光シーズンに向けた対策を